令和　年　月　日

各位

ユネスコ協会・クラブ

会長

**「書きそんじハガキ・キャンペーン2021」へのご協力のお願い（依頼）**

拝啓　時下ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より民間ユネスコ活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

私たちは、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」と謳うUNESCO憲章の理念に基づき、草の根の立場から、平和の文化を構築するための活動を国内外で直接実施してきた団体です。

世界には学校に行けない子どもたち（6歳～14歳）の数が1億2100万人（11人に1人）、また、学校へ行けないまま大人になったために読み書きできない15歳以上の数が7億7,300万人（6人に1人）にのぼり、その7割がアジアに集中しています。

平和の礎を築くためには貧困のサイクル（教育を受けていない⇒安定した収入を得られない⇒子どもたちに教育を受けさせることができない）を断ち切ることが欠かせないとして、公教育すら受けられずにいる子どもたちや大人に日本発の教育活動として「ユネスコ世界寺子屋運動」を1989年から実施してまいりました。

この「ユネスコ世界寺子屋運動」では活動のための募金を集めると同時に、国内で書きそんじハガキ（書き間違えるなどして投函しなかったハガキ）を集め、それらを換金し、人びとが無償で学べる教育の場（寺子屋）を提供しています。1989年の開始以来、世界44ヵ国1地域で約134万人が様々な形で学ぶ機会を得ることができました。

　ユネスコ世界寺子屋運動」では今後、新型コロナウィルスの影響で学校に行けなくなった子どもや、中途退学の危機にある子どもたちへの教育を拡充させていく計画をしています。

　つきましては、コロナ禍ではございますが、児童・生徒の皆さんが現状を知り、世界に目を向け、力を合わせて課題を解決する実践活動として、また、身近で取り組みやすい国際協力のボランティア活動として、貴校（貴団体・貴社）におかれましても「ユネスコ世界寺子屋運動」書きそんじハガキ・キャンペーンにご理解とご協力を賜ることができましたら、大変有難く存じます。何卒ご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬具



「書きそんじハガキ・キャンペーン」

の情報はこちら